

令和 8 年度 挨拶運動始動！

5 月 12 日、13 日の 2 日間、登校時間帯において、今年度第 1 回目となる代表委員会による挨拶運動が実施されました。昨年度の代表委員長が「より挨拶が活発な学校に！」との思いで始めた取り組みですが、今年度も代表委員長を中心に引き続き実施されています。



昨年度は学年ごとに行っていた挨拶運動ですが、今年度からは全学年合同で実施しています。大きな声の挨拶が響く登校風景は、とても良いものだと感じました。先日発行された学校通信 NO.2 でも取り上げられていましたが、挨拶とは「人と人をつなぐ」ものです。年齢を重ねるにつれて、挨拶が疎かになりがちですが、ぜひ皆さんの力で、けやき台中学校がさわやかな挨拶の響く学校になることを願っています。

「あいさつとは、相手の存在を認め、相手に対して心を開くこと」です。「相手から挨拶をされれば返すけれど、自分からはしない」というのは、相手を見殺し、存在を認めていないのと同じであると言えます。一方で、大きな声で元気よく挨拶をする人は、それだけで親しみやすさや好印象を与えます。もちろん、その後のコミュニケーションが円滑になることは言うまでもありません。



大切なのは、「挨拶が大切だと思う心」です。言われた直後は多くの人ができるはずですが、次第にできなくなることがあります。それは、心の底から挨拶の大切さを実感できていないからではないでしょうか。私自身も疲れているときには挨拶の声が小さくなりがちですが、なるべく大きな声で挨拶をしようと心がけています。

さて、良い挨拶のポイントを紹介します。

相手の目を見て、大きな声で、自分から、笑顔で！

いかがでしょうか。「当たり前」と感じるかもしれませんが、今朝の自分の挨拶を思い出してみてください。すべて実践できていたでしょうか。今年度が始まって約 1 か月半が経ち、挨拶の元気も少しずつ落ちてきているように感じます。今一度ポイントを意識して、より良い挨拶を心がけましょう。

さて、先日 1 年生は転地学習を終えましたが、来週は 2 年生の校外学習、3 年生の修学旅行と、各学年で大きな校外行事が予定されています。普段の学校生活に加え、こうした行事の中でも、やるべきことをしっかりと意識しながら、思い切り楽しんでほしいと思います。それぞれの行事が、皆さんにとって大きな成長の機会となることを期待しています。